



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

東

上場会社名 株式会社ヤシマキザイ

上場取引所

コード番号 7677

URL <https://www.yashima-co.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 関 正一郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経営企画室長

(氏名) 濱村 浩志 (TEL) 03-4218-0096

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,797	△3.4	125	87.2	186	61.1	115	△0.3
2026年3月期第1四半期	8,070	26.7	67	—	115	—	115	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 330百万円(41.0%) 2026年3月期第1四半期 234百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	40.23	—
2026年3月期第1四半期	40.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	25,184	10,554	41.9
2026年3月期	27,783	10,296	37.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 10,554百万円 2026年3月期 10,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	△5.5	600	△17.5	710	△6.4	460	△8.4	160.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	2,880,000株	2026年3月期	2,880,000株
2027年3月期1Q	6,865株	2026年3月期	6,865株
2027年3月期1Q	2,873,135株	2026年3月期1Q	2,869,404株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(四半期連結損益計算書関係)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移するとともに、企業収益や設備投資にも持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で地政学的リスクの高まりによる資源・エネルギー価格の高止まりや物価上昇、中国経済の減速、為替動向等の影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客である鉄道事業者においては、国内旅行需要及びインバウンド需要の回復等を背景として、収益環境は総じて改善傾向で推移しました。

そのような状況のもと、当社グループは2024年度から2026年度の3ヶ年中期経営計画を策定しており、(1)安定成長軌道への回帰、(2)新たな企業価値の創出、(3)2027年3月期ROE 5%超、の3つを基本目標に掲げ、当社グループの事業環境を踏まえて対処すべき課題等に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、国内において主要顧客である鉄道事業者の収益環境の改善を受けて、安全対策や老朽設備更新、維持管理等を中心とした投資需要は底堅く推移したものの、顧客の製造工程の変更により一部案件の納品時期が前期に前倒しとなったこと等により、売上高は7,797百万円（前年同期比3.4%減）となりました。一方、前年同期比で高付加価値商材の売上構成比が上昇したこと等により、営業利益は125百万円（前年同期比87.2%増）、経常利益は186百万円（前年同期比61.1%増）となりました。また、当社連結子会社「亜西瑪（上海）貿易有限公司」関連債権の回収に伴う貸倒引当金戻入額による特別利益が減少し、さらに法人税等調整額が増加したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は115百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（鉄道事業）

鉄道車両製品を主な商材として、鉄道事業者及び鉄道関連メーカー等を対象に、鉄道車両用電気用品、同車体用品等を主に取り扱っております。主要顧客である鉄道事業者の収益環境が改善傾向で推移し、安全対策や老朽設備更新等を中心とした投資需要は底堅く推移したものの、顧客の製造工程が変化した影響で納品が前期に前倒しとなったこともあって、売上高は軟調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,056百万円（前年同期比6.5%減）、営業利益は142百万円（前年同期比47.0%増）となりました。

（一般事業）

当社グループにおいては鉄道事業以外を一般事業としております。取引を行っている業界は、産業機器メーカーや電力用機器メーカー、自動車関連メーカー等と多岐にわたっており、主な商材はコネクタや電子部品であります。産業機器メーカーをはじめとする各種メーカーの業績回復を背景とした需要拡大により、売上高は増加基調で推移しました。

その結果、売上高は740百万円（前年同期比41.6%増）、営業損失は16百万円（前年同期は29百万円の損失）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は25,184百万円で、前連結会計年度末に比べ2,599百万円減少しております。主な要因は、現金及び預金(1,575百万円増)、投資有価証券(262百万円増)が増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産(3,335百万円減)、営業未収入金(1,078百万円減)が減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は14,629百万円で、前連結会計年度末に比べ2,858百万円減少しております。主な要因は、電子記録債務(327百万円増)が増加した一方、買掛金(1,651百万円減)、営業未払金(1,386百万円減)が減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は10,554百万円で、前連結会計年度末に比べ258百万円増加しております。主な要因は、その他有価証券評価差額金(168百万円増)、為替換算調整勘定(46百万円増)が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期通期の業績予想につきましては、2026年5月15日に公表いたしました数値と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,692,051	11,267,456
受取手形、売掛金及び契約資産	7,218,933	3,883,564
営業未収入金	1,263,141	184,579
電子記録債権	532,381	571,816
有価証券	1,000,000	1,000,000
棚卸資産	1,828,407	1,719,998
未収入金	188,431	204,495
その他	656,812	763,256
貸倒引当金	△219,340	△209,481
流動資産合計	22,160,820	19,385,686
固定資産		
有形固定資産	64,364	68,161
無形固定資産	35,070	56,088
投資その他の資産		
投資有価証券	4,004,065	4,266,570
繰延税金資産	11,073	12,730
長期未収入金	232,123	211,660
その他	1,596,398	1,498,399
貸倒引当金	△320,300	△315,080
投資その他の資産合計	5,523,359	5,674,279
固定資産合計	5,622,794	5,798,529
資産合計	27,783,614	25,184,215

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,665,855	10,014,006
営業未払金	1,750,511	363,989
電子記録債務	923,083	1,250,109
未払法人税等	341,237	8,454
契約負債	85,664	325,168
リース債務	6,800	5,499
賞与引当金	264,758	144,752
受注損失引当金	423,969	445,245
その他	422,808	440,118
流動負債合計	15,884,689	12,997,344
固定負債		
繰延税金負債	114,994	274,780
退職給付に係る負債	899,793	907,532
役員退職慰労引当金	138,412	118,749
債務保証損失引当金	376,200	258,000
資産除去債務	43,393	43,473
リース債務	8,666	7,795
その他	21,425	21,752
固定負債合計	1,602,885	1,632,084
負債合計	17,487,575	14,629,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,900	99,900
資本剰余金	763,988	763,988
利益剰余金	7,871,729	7,915,490
自己株式	△1,444	△1,444
株主資本合計	8,734,174	8,777,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,078,306	1,247,047
為替換算調整勘定	483,558	529,804
その他の包括利益累計額合計	1,561,864	1,776,852
純資産合計	10,296,038	10,554,787
負債純資産合計	27,783,614	25,184,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	8,070,865	7,797,364
売上原価	7,049,076	6,640,003
売上総利益	1,021,788	1,157,360
販売費及び一般管理費	954,596	1,031,610
営業利益	67,192	125,750
営業外収益		
受取利息	3,357	4,428
受取配当金	25,950	32,379
賃貸料収入	14,812	16,213
受取出向料	13,749	13,387
債務保証損失引当金戻入益	※2 11,000	※2 118,200
その他	7,573	8,789
営業外収益合計	76,443	193,398
営業外費用		
支払利息	8	8
賃貸原価	3,181	4,011
為替差損	24,066	—
貸倒引当金繰入額	—	3,368
投資有価証券評価損	—	125,169
その他	528	0
営業外費用合計	27,784	132,559
経常利益	115,850	186,589
特別利益		
貸倒引当金戻入額	※1 23,034	※1 9,060
特別利益合計	23,034	9,060
税金等調整前四半期純利益	138,884	195,649
法人税、住民税及び事業税	8,705	14,520
法人税等調整額	14,291	65,539
法人税等合計	22,997	80,060
四半期純利益	115,887	115,589
親会社株主に帰属する四半期純利益	115,887	115,589

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	115,887	115,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	185,029	168,740
為替換算調整勘定	△66,512	46,246
その他の包括利益合計	118,517	214,987
四半期包括利益	234,404	330,576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234,404	330,576

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,547,711	523,153	8,070,865	—	8,070,865
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,547,711	523,153	8,070,865	—	8,070,865
セグメント利益又は損失(△)	96,861	△29,669	67,192	—	67,192

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,056,417	740,946	7,797,364	—	7,797,364
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,056,417	740,946	7,797,364	—	7,797,364
セグメント利益又は損失(△)	142,357	△16,607	125,750	—	125,750

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	10,579千円	11,040千円

(注) 負ののれんの償却額は金額的重要性がないため、記載を省略しています。

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 貸倒引当金戻入額

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

中国の連結子会社である亜西瑪(上海)貿易有限公司(以下、「ヤシマ上海」)における2023年3月期の不正調査の過程において、仕入先と得意先が実質的に一体である取引が判明し、取引の実在性に疑義のある取引を識別しました。しかし、得意先の協力が十分得られず、取引の実在性を十分に確認することができませんでした。そのため、当社は当該取引を不適切な取引であると認識し、売上取引を取り消すとともに、ヤシマ上海における仕入先と得意先とは2023年6月に取引を停止しました。

当該商流におけるヤシマ上海の2023年6月までの支払額から入金額を控除した金額を正味支出額とし、回収可能性が確実と認められる金額以外については貸倒引当金を計上しておりました。

なお、得意先に対しては、債権回収期限の猶予により資金繰り負担を軽減することにより事業の継続を支援し、未収金の全額回収を目指すこととしました。

その結果、当第1四半期決算短信提出日までの正味回収額23,034千円を特別利益の貸倒引当金戻入額として計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

中国の連結子会社である亜西瑪(上海)貿易有限公司(以下、「ヤシマ上海」)における2023年3月期の不正調査の過程において、仕入先と得意先が実質的に一体である取引が判明し、取引の実在性に疑義のある取引を識別しました。しかし、得意先の協力が十分得られず、取引の実在性を十分に確認することができませんでした。そのため、当社は当該取引を不適切な取引であると認識し、売上取引を取り消すとともに、ヤシマ上海における仕入先と得意先とは2023年6月に取引を停止しました。

当該商流におけるヤシマ上海の2023年6月までの支払額から入金額を控除した金額を正味支出額とし、回収可能性が確実と認められる金額以外については貸倒引当金を計上しておりました。

得意先に対しては、債権回収期限の猶予により資金繰り負担を軽減することにより事業の継続を支援し、正味支出額の全額回収を目指すこととしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間末日までの正味回収額9,060千円を特別利益として戻入れしております。

※2. 債務保証損失引当金戻入益

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社におけるインド市場でのパートナー企業であるRENMAKCH INDIA PRIVATE LIMITED(以下、レンマック社)に対し、インド地下鉄向け案件等、今後のODA案件参画に向けた実績となる案件を受注し手掛ける際に、当社はスタンバイLCを発行してその資金調達を支援しております。なお、2025年6月末日時点でレンマック社に対するスタンバイLC発行による債務保証額は220百万インドルピーとなっております。

2025年3月期において、レンマック社の業況等を鑑み、2025年3月期末日における債務保証額220百万インドルピーに相当する円価額385,000千円を債務保証損失引当金繰入額として計上しております。2025年6月末日時点においては、インドルピー建ての債務保証額に増減はありませんが、当社使用レートの洗替による債務保証損失引当金戻入益11,000千円を計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

当社におけるインド市場でのパートナー企業であるRENMAKCH INDIA PRIVATE LIMITED(以下、レンマック社)に対し、インド地下鉄向け案件等、今後のODA案件参画に向けた実績となる案件を受注し手掛ける際に、当社はスタンバイLCを発行してその資金調達を支援しております。

当第1四半期連結累計期間において、レンマック社がスタンバイLCの対象となっている融資を一部返済したため、債務保証損失引当金戻入益118,200千円を計上しております。

なお、2026年6月末日時点でレンマック社に対するスタンバイLC発行による債務保証額は150百万インドルピーとなっております。